2019年度(令和元年度)　草津市立新堂中学校通信　　Ｎｏ１０（２月　７日号）

しんどう中学校通信

～仲間とともに高めあい　豊かな学びと心を大切にする学校～

“受験の季節”に思うこと

２月に入ってから県内私学高校の入試や県立高校の推薦入試が始まりました。来週からは京都私学(県外私学)の入試も始まります。しばらくは、まだまだ寒い日が続きますが、３年生の皆さんには風邪等ひかないよう健康に留意しながらこの季節を乗り越えていってほしいと祈るばかりです。

受験というものは、一人ひとりが自分の進路に対して立ち向かうもので個人的なものと捉えがちになるものですが、受験は「個人戦」ではなく「団体戦」だと教えてもらったことがあります。今日はそのことをお話ししたいと思います。

受験勉強はたとえ個人的なものであったとしても、孤独なものである必要はありません。みんなが一緒に「次の進路に向かって頑張る集団なのだ。」という学年やクラスの雰囲気・一体感はとても大切です。

クラスのあの人も、「みんなこの時期は頑張っている。」「苦しいのは自分一人じゃない。」そう思うことができれば気合いも入るし、自分も背中を押されたような気持ちにもなれます。クラスの誰かが本気で頑張っていると信じられるから自分も頑張れるのだと思います。

また、集団や友達の中で「教える・教えられる」の関係も大切なことになります。もちろん教えてもらう側にもメリットがありますが、学力を伸ばせるのはむしろ教える側だと思っています。人にものを教えるには、自分ひとりで問題を解く以上の知識や技能が必要になるからです。自分の頭の中にあることを整理してわかるように言語化する必要がでてきますし、あいまいな知識や記憶で人にわかるように教えることはなかなか難しいことに気づかされます。教えることは学習の近道なのです。

さらに、この受験の季節は長丁場です。入試は３月の公立の一般入試だけではありません。２月に入ってすぐに県内私学の入試がありましたが、そのあと合否の発表もあります。いち早く自分の進路が決まってくる生徒も出てきます。進路がきまった生徒が集団の中で、集団のためにすべきことを考えてどのように生活していくかを考えることも大切になってきます。そのことも含めて“団体戦”なのです。

よき集団の中で人は切磋琢磨し、その能力を伸ばしていくものだと思っています。

どうか、健康に留意しながら、お互いに支えあえる集団、高めあえる集団の中で受験という壁を仲間とともに乗り越えていってほしいと願っています。

校長　　伊庭　靖二

道徳教育の研究発表大会の様子から　　…１月１６日（木）

文部科学省・道徳教育の研究指定を受けての研究発表大会が行われました。当日本校では、１年１組と２年１組において道徳科の授業を公開し、その後研究協議会が持たれました。次年度へ続く「中間発表」としての位置づけでしたが、県内外からたくさんの先生方に来校していただきました。午後からはアミカホールへ会場を移し、これまでの取り組みの発表と文科省教科調査官や県の指導主事による講演会が持たれました。

１年生のカルタ大会の様子から　　…１月２４日（金）

この時期の恒例行事になっている感がありますが、体育館で１年生の生徒全員が数名のグループに別れての“百人一首カルタ大会”が行われました。「読み手」は１年生の国語科の先生にしていただきました。今年は暖冬のせいか、あまり寒さが気にならないカルタ大会となったようです。

◇◇◇◇◇保護者のみなさまへ◇◇◇◇◇◇◇◇◇

草津市教員委員会事務局より下記の制度の周知依頼がありましたのでお知らせいたします。

令和２年度（２０２０年度）児童生徒就学援助費給付制度の周知について

草津市では、小・中学校に在学するお子さんがおられるご家庭で、経済的な理由により修学に必要な経費の負担にお困りの保護者の方に、学用品の一部や学校給食費を給付する就学援助費給付制度を実施しています。

給付を希望される場合は、申請書に必要事項を記入し学校まで提出してください。なお、給付要件に該当しない場合は認定できませんのでご了承ください。申請書や制度の説明書につきましては、学校又は草津市役所学校教育課（６階）でお渡ししますので、お問い合わせください。